



妹島和世 + 西沢立衛

東京会場
講師
妹島和世

(SANAA・妹島和世建築設計事務所代表)

講演テーマ
「環境と建築」

日時
2012年7月13日(金) 18:30~20:30 (18:00開場)

会場
有楽町朝日ホール
(東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町マリオン11F)

定員
772名 入場無料 申込み制 ※定員を超える場合は抽選となります。
※CPD認定単位取得可(2単位予定)

後援
(一社)日本建築学会、(社)日本建築家協会関東甲信越支部
(社)東京建築士会、(一社)東京都建築士事務所協会

大阪会場
講師
西沢立衛

(SANAA・西沢立衛建築設計事務所代表)

講演テーマ
「近作について」

日時
2012年7月5日(木) 18:30~20:30 (18:00開場)

会場
御堂会館 大ホール
(大阪市中央区久太郎町4-1-11)

定員
906名 入場無料 申込み制 ※定員を超える場合は抽選となります。
※CPD認定単位取得可(2単位予定)

後援
(一社)日本建築学会、(社)日本建築家協会近畿支部
(社)大阪府建築士事務所協会、(社)大阪府建築士会

申込み方法: 5月1日~6月10日 18:00までの間、ホームページより受付けております。

主催: アイカ現代建築セミナー実行委員会 協賛: アイカ工業株式会社 運営協力: 株式会社建報社



1. 世界で三指に入る大型の噴水を設けた「モロッコ・モール」外観
2. 同モールの西側中央に位置する「ギャラリーラファイエット」

DEVELOPMENT

MIPIMアワード商業施設部門は「モロッコ・モール」が受賞

篠田香子(ジャーナリスト)

国際不動産関係者のダボス会議とも言われる、MIPIM(国際不動産見本市)。今年は新興諸国が勢いを見せ、投資家の関心は主要都市一等地の質の高い商業施設に集まった。

期待を集める商業開発

南仏カンヌで毎春5日間に渡って開催されるMIPIM、今年は83カ国から1万9400人の不動産金融ビジネスのトップが集まった。出展は大規模な開発プロジェクトを中心に、ロンドンからサンパウロに至る世界各都市で、今年は東京の案件も参加していた。機関投資家を対象に世界でも最も高額の商品が売買される市とも言える。大型不動産は、住居、オフィス、商店、ロジスティック(倉庫など)と用途により四つに分かれるが、不況の中で一番期待されのが商業施設だ。

「ヨーロッパでは各地にできる複合大型モールが既存店舗を圧迫しているが、一方で良い路面店が並ぶ文化的な通りの魅力も見直されている。また、ブルガリを買収したLVMHを筆頭に、ヨーロッパのラグジュアリーブランドがアジアや南米で好調で、日本企業ではユニクロとMUJI、Y-3が世界進出に活発な印象がある」と、商業不動産のコンサルティングに特化した、location GroupのCEOであるMarc-Christian Reibe氏は語った。

地元の風土を生かした商業モールデザイン

こうした背景もあり、優れた不動産開発物件に授けられるMIPIMアワードの商業施設部門は、今年、モロッコ・カサブランカの「モロッコ・モール」に輝いた。地元ディベロッパーが伊・Design International社に設計を依頼、昨年12月に開

業したものだ。カサブランカ西方の海辺、約2万5000㎡の敷地に誕生した、ショップ350軒、レストラン棟、シネコン、水族館、巨大な大型噴水などからなるアフリカ大陸初の大規模モールだ。地元約2万人の雇用を生み出し、現在1日平均約9万人を集客している。

そして、スーク(アラビア語で市場)風の店舗など地元のカラーに現代性を加えた斬新なデザインは、地元だけでなく観光客にも好評だ。モロッコは政治的にも安定し、GDPが年間5%、消費指数が10%伸びており、入居率も100%に達した。現在ここに並ぶ600近い商品ブランドは、アフリカ市場に初めて進出したものが大半だという。

町から海の景観を妨げないよう12mの高さ制限と、砂地という制約下で指揮をとったダヴィデ・パドア(Davide Padoa)氏は、自然との融合をイメージした無限の「8」をデザインモチーフにした。8の字型のスロープにそって店舗が並び、西側の中央には、球形のウォールにエキゾチックなライティングを施したギャラリーラファイエットが鎮座する。ちなみに、施設内のショップファサードは、世界最大としてギネスブックに記録された。

「新しさの中にも人に優しい柔らかな表情と、地元の風土をデザインに取り入れたことが、市民に広く親しまれることになったのでは。消費優先ではなく、ランドスケープを生かし、施設一帯の中で楽しく過ごせる場づくりを意図した。地元が誇るランドマークとなったことがうれしい」と、パドア氏は語る。その中でも大きく売上げを伸ばしているのが飲食部門だ。3軒の寿司店も繁盛しており、このモールは世界の商品のアフリカ進出だけでなく、アフリカが知ることのできる世界への窓口にもなっている。現在、パドア氏がカイロで手掛ける「クレオパトラ・モール」も完成が期待されている。